

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・新たな省エネ基準の導入に伴う駆け込み特需と、それを後押しするおきなわ省エネ家電購入応援キャンペーンが好実績につながっている。
	○	一般小売店〔土産〕（営業部長）	単価の動き	・観光客は増加しているが、中東情勢の影響による資材の高騰や、仕入不足による商品単価への影響を懸念している。
	○	コンビニ（経営企画担当）	来客数の動き	・前年と比較して悪天候が続き来客数が減少していたが、天候の回復に伴い来客数は戻りつつある。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・客先では商品不足が常態化していることから、発注が途切れない。
	○	その他専門店〔書籍〕（部長）	来客数の動き	・インバウンドが好調なこともあり、来客数が微増している。
	○	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・3月の販売室数が前年比10%増加に対し、6月は前年比25%増加と、プラス幅が大きくなっている。
	○	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・以前と比べて乗換え特典が増えているため、3か月前と比較して景気はやや良くなっている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・欧米からのインバウンドが増加している。
	○	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・分譲物件の問合せが好調である。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食店が増加し、小売店は減少している。客の様子はどちらともいえない状況であり、景気も変化がみられない。
	□	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・来客数が徐々に増加傾向にある。また、来客数の増加に伴い、客単価も上昇傾向にある。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・物価高騰のため、景気に変化はみられない。
	□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数や客単価及び販売量に変化はみられない。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・夏物の売行きは好調だが、周辺の店舗や人流の様子を見る限り、全体的な景気が好調というわけでない。
	□	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・景気に変化はみられない。
	□	観光型ホテル（専務取締役）	単価の動き	・来客数は未達だが、1人当たり消費額が前年を上回る状況が継続していることから、景気は3か月前と比較して変化はないと捉えている。
	□	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・前年と比べて取扱高は横ばいで推移している。物価高の影響で個人旅行の取扱は減少しているものの、企業等による出張は増加している。
	□	観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前と比較して景気に変化がみられない。
	□	住宅販売会社（役員）	来客数の動き	・中古マンションなど仲介物件の問合せが多く、特に駅近は成約が早い傾向にある。新築マンションの販売状況に大きな変化はないが、上層階は県外富裕層向けに高価格や民泊可能にしたり、下層階は県民向けに手頃な価格にしたりするなど、顧客層に応じた分譲がみられる。
	▲	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・食料品の物価高騰により、外食が苦戦している。
▲	百貨店（経営担当）	販売量の動き	・台風の影響により臨時休業が発生したことで、販売量が減少している。	
▲	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・台風の影響で単純な比較は難しいが、来客数は前年割れで推移している。また、父の日のイベントにおいても、売上が前年を割り込む結果となった。総じて3か月前と比べて景気は落ち込んでいる。	
▲	その他飲食店〔ファーストフード〕（総務部）	来客数の動き	・梅雨時期でもあり、3月の繁忙期と比較して景気はやや悪い状況である。さらに、6月は台風が2回上陸したことで、大きな損失となった。	

	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量が前年比で10%の減少となっている。
	×	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・梅雨と台風の影響により売上が減少した。
	×	その他飲食店〔バー〕（経営者）	来客数の動き	・今月の来客数と売上は、開店して8年目で最も悪い月となった。周辺の飲食店も同様なため、飲食業界の景気は悪くなっている。
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響が懸念されるが、直近で原材料値上げの情報はなく、生産、販売ともに横ばいの状況である。
	□	建設業（経営者）	それ以外	・中東情勢の影響が建設資材の高騰だけでなく、多方面に影響を及ぼしている。そのため、今後も受注前後の業務を通じて、赤字にならないか心配している。
	□	通信業（総務）	それ以外	・3か月前と比べても、観光業は好調とみている。
	□	会計事務所（所長）	それ以外	・物価上昇の影響により、高価格帯の消費手控えが進んでいる。
	▲	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・物価上昇により、消費者が購買に対して慎重になっている。客も徐々に価格に慣れるとみているが、しばらく時間が必要である。
	▲	輸送業（経営企画部）	取引先の様子	・物価高や人件費の増加を理由に、パートナー会社から料金改定が相次いでいる。
	×	—	—	—
雇用 関連  (沖縄)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件に対して求職者の動きが鈍く、人手不足が続いている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年比で求人数は若干減少している。他方で、医療福祉等の分野では人手不足の相談がみられる。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	中途採用に注力している企業は、新卒採用を抑えており、新卒を採用する場合も求める水準が上がっている。現時点で変化はみられないが、今後は求人数及び採用数の減少が起きるとみている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・中小企業含めて新卒採用は積極的だが、景気が好調にはみえない。
	▲	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・3か月前の採用が積極的だった反動に加え、梅雨や台風の影響もあり、今月の求人数は減少した。
×	—	—	—	